

2007.2.20

夢の

中野区公益活動助成事業

「こども・まち・アート」交流見本市

# キッズミュージアム 2007

2007年 3.21~25

事業企画書



**特定非営利活動法人 ZERO キッズ**

<http://www.c-c-cnet.org>

TEL & FAX 03-5385-9068

Eメール [info@c-c-cnet.org](mailto:info@c-c-cnet.org)

〒164-0012

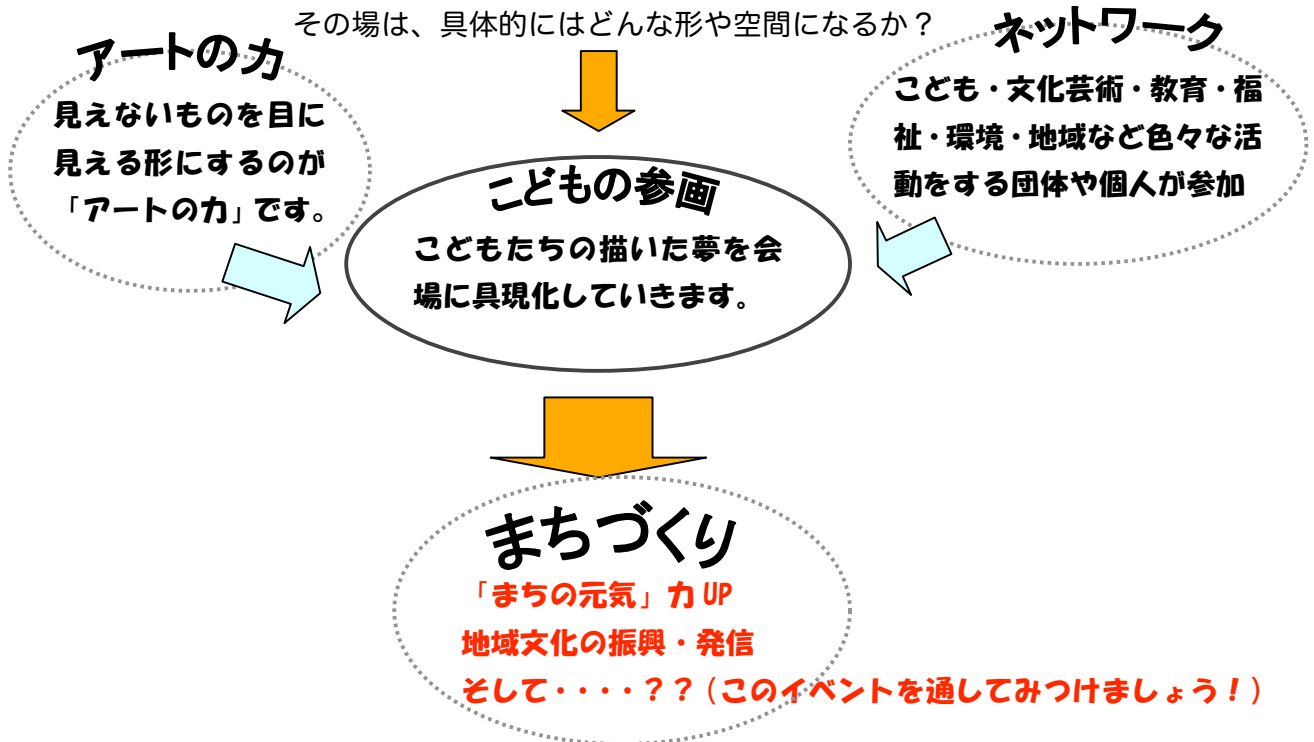
東京都中野区本町 5-27-3-103

## ■ 趣旨と目的 ■

### キーワードは

「こどもの参画」「アートのか」「ネットワーク」  
を「まちづくり」へ

こどもたちの、こどもたちによる、  
こどもたちのための拠点とは、どんな場であるのか？  
その場は、具体的にはどんな形や空間になるか？



### < イベント開催にあたって >

今回の「夢のキッズミュージアム」では、

- ① 中野のまち、そして各地で「まち・こども・アート」にかかわるグループが出合い、お互いを知る場をつくります。「共有の場」づくり、一緒につくることからネットワークづくりにつなげます。
- ② 「こども」の持っている力に着目し、こどもの参画により「こども」の力をまちづくりに活かすことを提案します。
- ③ 「こども」に向ける大人の温かい視線を未来に向けていきます。
- ④ 「芸術文化」により世界中の人たちの幸せや平和への祈りを発信し、実現に向けて前進していきます。
- ⑤ こどもたちにとってよりよい時間と空間、仲間のある環境を創っていきます。

## ■ 事業概要 ■

子どもたちが描いた「夢のキッズミュージアム」が、春休みの5日間なかのZERO西館の美術ギャラリーに創出されます。そこは、森の中？空の上？異次元空間・・・？

2006年11月からワークショップを重ねて考えた空間が、子どもと大人の手で創り出されていきます。森の中には、様々なNPOや個人の展示コーナーがあり、様々な団体・個人のパフォーマンスも行われます。空の上は不思議なキッズカフェ、謎の異次元空間からは何が飛び出すか・・・？

最終日には朝から演劇ワークショップ。ここでつくった即興劇を披露しながら、午後のフォーラムが始まります。テーマは「子ども・まち・アートのか」、まちづくりやコミュニティアートの専門家にも参加してもらいます。

この五日間、子どもも大人も一緒につくって、参加して、楽しんで、子どもたちの想像力から生まれた世界を、夢を、アートの力で目に見えないものを形にします。

■ 主催 ■ 特定非営利活動法人 ZERO キッズ

■ 後援 ■ 中野区、中野区教育委員会、東京都社会福祉協議会、東京都小学校 P.T.A 協議会、音楽教育振興財団、中野区立小学校 PTA 連合会、中野区立中学校 PTA 連合会、東京都子ども会連合会、中野区社会福祉協議会、JCN 中野

■ 協力 ■ あすとらいあ・すぴりっつ、いせフィルム、映像館、エイブル・アートジャパン、演劇企画くすのき、小田原女子短大、オルタスジャパン、(株)音楽之友社、NPO Kiss、グルッポディウイズ、劇団仲間、劇団ほっぴい、劇団未来劇場、子育て応援団ゼロプロジェクト、NPO 杉並フットボールクラブ (SFC)、NGO ストリートチルドレンを考える会、NPO すまいの相談室、TAM オフィス、NPO 地域学習協会、伝承文化研究所、東京えびす連、東京環境構造センター、東京土建組合中野支部、どんきい劇場、中野元気力発伝所、中野ハナミズキの会、(社)日本オーケストラ連盟、ぱりちゃんず、ぱらぱらマンガ友の会、NPO パントマイムクリエイション・マリオ、ほねぶとネット、ma-navisioners、ミニ・ミュンヘン研究会、(財)民間放送教育協会、ヨイサの会、(株)ロッセ、Art Dolce・・・  
(これからさらに増えていく予定)

■ 日時 ■ 2007年3月21日(水・祝)～23日(金) 参加型の設営・準備作業  
3月24日(土) 25日(日) 一般公開

■ 会場 ■ なかのZERO西館美術ギャラリー1・2(1F 175㎡、2F 105㎡)

## ■ スケジュール ■

<準備期間>

★3/19～3/23 搬入・会場設営-----楽しみながらつくる！

1. 子どもたちによる夢のキッズアイランドの実現。
2. アートNPOや個人のブースを設置する。(3/21 夕方～ 交流会)

設置にあたっては、出展者及び子どもたちの共同製作で、壁画やダンボールによるテーブル、

ブースや看板、表示の製作を行う。

#### <一般公開>

★3/24 (土)

10:00~18:00 ブース展示、1 演目 1 時間弱のパフォーマンスや上映会、ライブ等

★3/25 (日)

10:00~17:00 ブース展示

9:30~12:30 演劇ワークショップ

14:00~16:30 「こども・まち・アート」フォーラム

コーディネーター：中埜博 氏 (コミュニティデザイナー)

パネラー：・鳥越けい子氏 (聖心女子大学教授・サウンドスケープ研究家) 柄田明美氏 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室研究員) 目黒実氏 (九州大学ユーザーサイエンス機構特任教授・篠山チルドレンズミュージアム副館長) 大多和勇氏 (演劇企画くすのき主宰、東京都生涯学習審議会委員)

17:00~ 片づけ

★3/26 (月) 片づけ・搬出

#### <開催に向けてのこれまでの経緯と今後の事前準備>

2006.11/12 (日) ワークショップ「こども・まち・アートの力」 中埜博氏・山口敦氏

- ・こどもたちが一番楽しいと思えることを目に見える形にする
- ・大人もこどもも「わくわくする気持ち」を感じる
- ・自分たちの思いを実現する方法をみつけていくことにつなげる

2006.12月：会場決定

2006.12/23 (金) 13~15 時 こどもの企画会議

2007.1月：プログラム決定、広報ちらし作成準備開始、参加団体の呼びかけ

2/25：協力者、協力団体と打ち合わせ

以降、随時こどもたちの壁画、大きな木等の作業、運営委員を中心とした準備作業

#### ■実施体制■

プロデューサー：佐々木 香 (特定非営利活動法人 ZERO キッズ理事長)

ディレクター：中埜 博 (コミュニティデザイナー)

アシスタント・ディレクター：山口 敦 (都市計画プランナー)

運営スタッフ：小山郁子、倉橋文子、能勢美香、斉藤ひろみ、長瀬涼子、亀岡文江、丸山紀子、川田冬紀、鈴木美佐子、倉田恵美、沼田澄子、嶋田恵美  
ZERO キッズママ&パパの会

アドバイザー：斉藤睦 (地域総合研究所)、三好良子 (人材育成コンサルタント)

協力：大多和勇、谷川賢作、太田富夫、早川元啓、池田邦太郎、高橋悦子、長谷部暢子  
中村功、野口博志、矢田美帆、渡部瑞穂

## ■会場設営企画案（次頁会場イメージ図参照）■

- 1) 1階ギャラリーは、ふしぎ森
- 2) 中2階は、雲の上のキッズカフェ
- 3) 2階は、まれびと※の里（天上人の空間）
- 4) 1～3の空間を結ぶ階段は「青空の階段」

※まれびと：人間の忘れたファンタジーを思い出させるために異界より訪れる不思議の人々（民俗学者 折口信夫の著書より）

## ●ふしぎ森●1階ギャラリー

～みんなでつくるテーブル～

中国の田舎では、ひとりの客人のために、町じゅうの路上に長いテーブルを出しておもてなしをするそうです。

今回、段ボール製の「細長いテーブル」を全員でつくります。

この巨大テーブルは、ミュージアムに来てくれるお客さまをもてなすテーブルであり、参加者の「展示ブース」であり、

観客席でもあり、また舞台装置でもあります。

みんな床に座ってしまいましょう。だからテーブルは低くていい。

座る人の目線で、会場が見渡せるように。

壁を見渡せば、子どもたちが描いた「森」がみえるはずです。

2階から、たまに、シューターにのって、

仮面をつけた「まれびと」がやってくるかもしれません。

～いつも未完成、でもそれでいい～

みんなでつくるテーブルのまんなか大きな「木」があります。

吹き抜け全体をおおうような枝ぶりです。

枝からぶらさがるいろんな、本物の果実、お菓子、葉っぱ・・・

最初に、

木の幹をぐるっと囲むようにカウンターをつくります。これだけはオトナの仕事。

みんな、必ずこのカウンターにつながるように

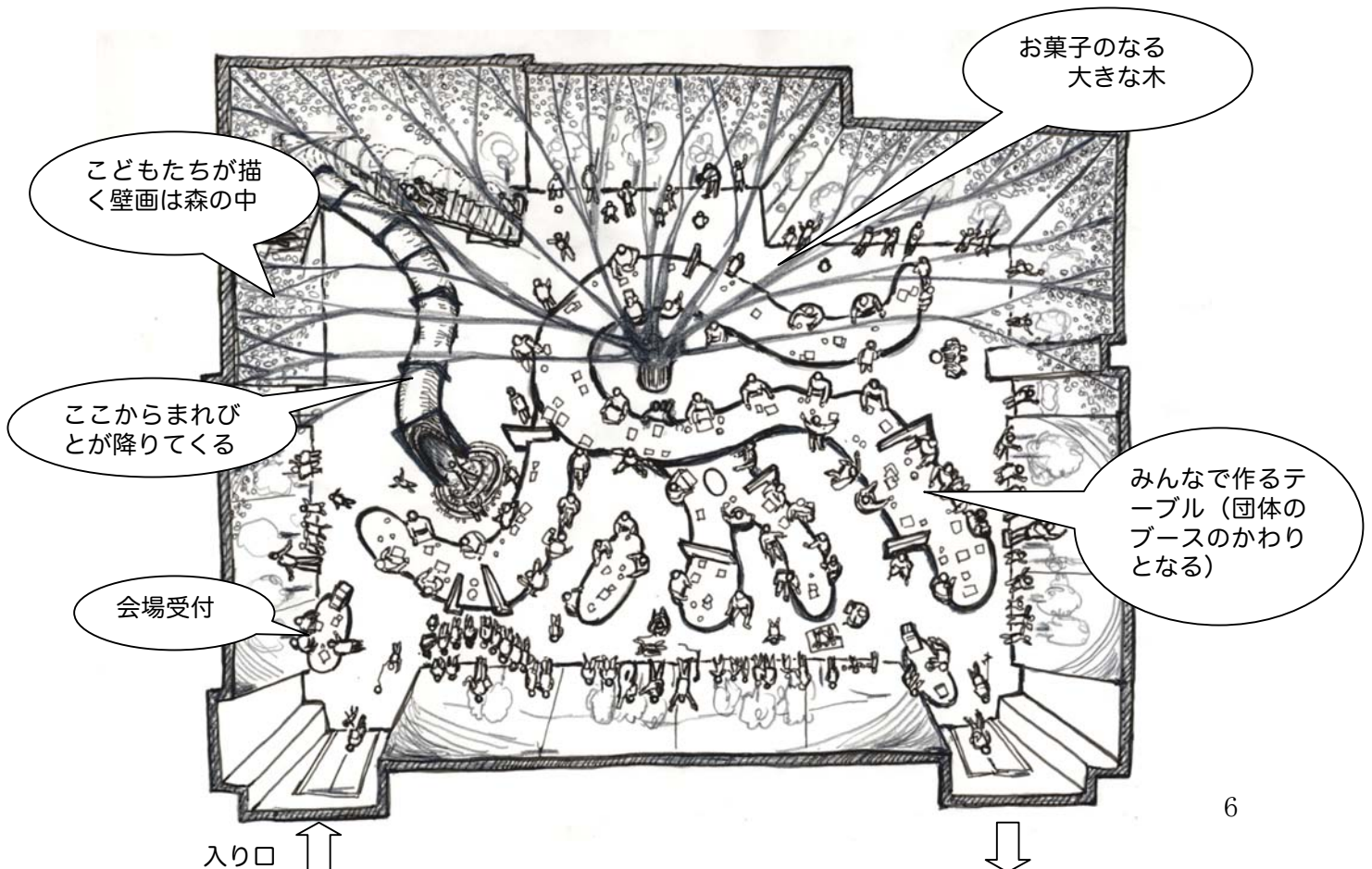
テーブルを継ぎ足し継ぎ足し作っていきましょう。木が枝をのばすように、  
参加するグループは、  
まず自分の座る場所を決めてから、段ボールを切ってテーブルをつくります。  
作ることに参加できないひとのスペースは、子どもたちがテーブルを作ってしまう。

このテーブルのうち大人の座るところは、  
自分たちの宣伝物の展示ブースとしてつかうことができます。  
小さな区切り壁をたててもかまいません。

作る途中でた切りはしは、みんな捨てないで床に落ちている。それでかまいません。  
来たひとは、誰でも、テーブルの一部を作って帰る。何か描いてもかまいません。  
つくる道具と材料は、端に置いてあります。  
いつも「工事中」。それでかまいません。

#### ～子どもの領土～

夕方になると、舞台照明が灯されます。  
この会場は、「子供の領土」のひとつのかたちとして、記録に残されます。  
枝にぶらさがったお菓子、プレゼントは、最終日にみんなのおみやげとなります。



## ●雲の上のキッズ・カフェ● 中2階

11月の「こども・まち・アートのカ」ワークショップでは、子どもとオトナ、それぞれが、

「私の大好きな場所」「行きたい場所」「あったらいいな、こんな場所」を思い浮かべ、絵に描き、夢を語り合いました。

お母さんたちは子育てに少し疲れているようです。

オトナだけでゆ〜っくりできる場所がほしい。

でもやはり、子どもたちの安全を見届けられる場所がいい。

そんなイメージも実現したいので、このカフェを作ります。

いろいろなNPOのひとたちの活動記録が窓に映るようにします。

ここにブースを出してもかまいません。

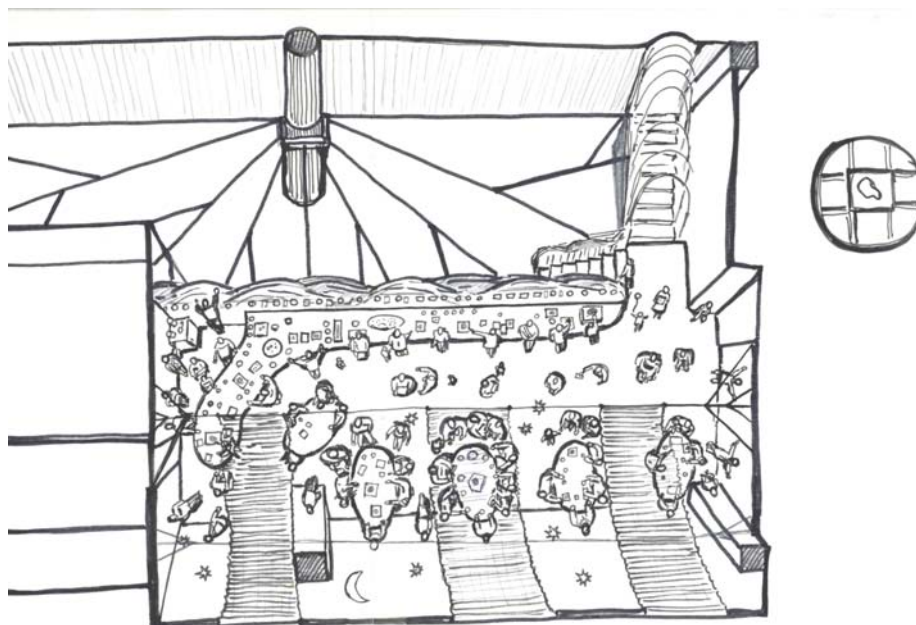
## ●まれびとの里● 2階ギャラリー

まれびと？って一体誰なんだろう・・・？

## ●青空の階段●

虹をわたり、雲をこえてそらへとつづく階段。

ここはまたあるときは「舞台」にもなります。おたのしみに。



中2階  
キッズカフェ案

■ 2006 こども企画ワークショップ風景 ■

「こども・まち・アートのか」2006.11.12

★自分たちが一番楽しいと思う夢のアイランドをグループで、目に見える形に描きました。



まず自分の夢の場所を頭の中に描き、それから絵にしました。みんなから出たアイデアをグループ毎に3つに絞り、3つの夢をそれぞれの島に貼って、相談しながらふくらませていきました。島の形や道も描いて、キッズアイランドが生まれました。

4年生までのグループ

5年生以上のグループ



大人のグループ



「こども企画会議」2006.12.23

★自分たちの描いた夢を具現化していこう！



ダンボールで会場の模型をつくりました。どこに何をつくろうか？考えて、壁に絵を描いたり、写真を切り抜いて人の形をつくって立ててみました。 8紙に描いた夢を立体にしていきました。



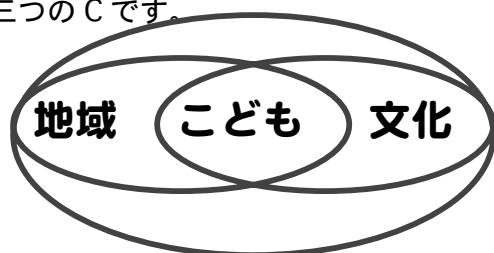
## ■プロフィール■

### 特定非営利活動法人 ZERO キッズ

東京都中野区のなかの ZERO 大ホールの開館記念事業（1993）をきっかけに結成。「そうぞう力（想像力&創造力）」をテーマに、音楽・演劇・ダンス・マイム・造形活動・自然体験などのワークショップにより五感をフルに使って、イメージと感動を表現につなげる教育活動を行う。2003年にNPO法人の認証を受ける。活動の集大成が3つの創作ミュージカル「森のふ・し・ぎ」（1998）「海のふ・し・ぎ」（2000）「そらのふ・し・ぎ」（2003）。楽譜、CDとなり全国の小中学校で活用されている。2005年第14回音楽教育振興賞（音楽教育振興財団／毎日新聞社）受賞。今後の目標は新たな創作ミュージカル（2009春予定）と、「そうぞう力」を育む教育・文化・ネットワークの拠点としてのチルドレンズミュージアムの構築です。

ZERO キッズのホームページ <http://www.c-c-cnet.org> (C-C-C らんど)

C-C-CのCは、Children（こども）・Community（地域）・Culture（文化）の三つのCです。



Children（こども） **こどものパワーで**  
Community（地域） **地域をつなぎ**  
Culture（文化） **文化をつくる**

連絡先 TEL&FAX 03-5385-9068 [info@c-c-cnet.org](mailto:info@c-c-cnet.org)

<出版物>楽譜:「子どもたちと創る地球ファンタジー海のふ・し・ぎ」「そらのふ・し・ぎ SONG BOOK」(音楽之友社)、CD「海のふ・し・ぎ」(ビクターエンタテインメント)、CD「そらのふ・し・ぎ」「見えない翼」(自主製作)



